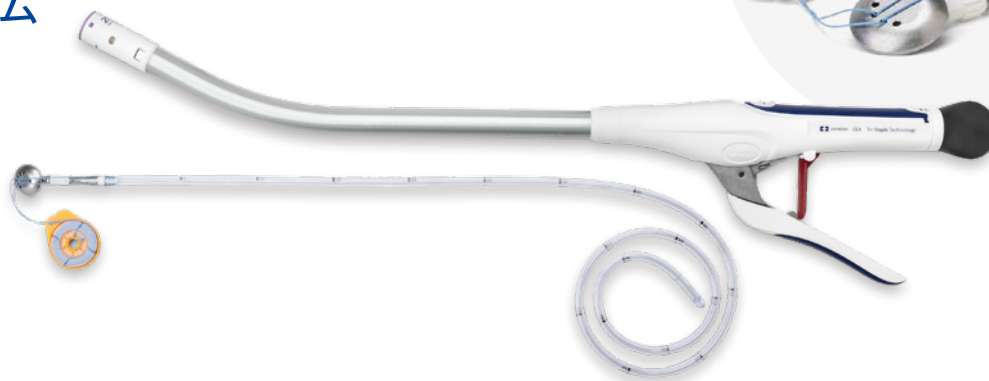


トリステーブル™ EEA™ オービル 取扱い方法



Steps for use

＊オービルと同サイズの EEA XL 本体が同梱されております。



1
ガイドスーチャーはリールに巻かれており、必要に応じて展開できます。



2
デリバリーチューブのバルブチップを食道などに挿入します。



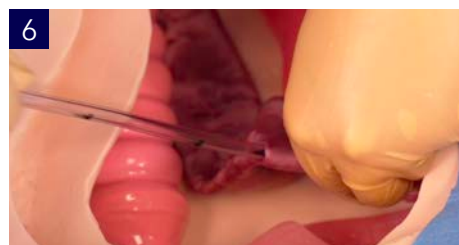
3
デリバリーチューブを吻合予定部位まで進めます。



4
操作中は常にリールを患者の体外に管理されていることを確認します。
必要に応じてリールからガイドスーチャーを展開します。



5
ガイドスーチャーは、デリバリーチューブ及びアンビルを操作する際の補助として使用することができます。
デリバリーチューブ及びアンビルの前進が妨げられる場合には、ガイドスーチャーを使用して、デリバリーチューブ及びアンビルの位置を調整したり、引き戻すことができます。



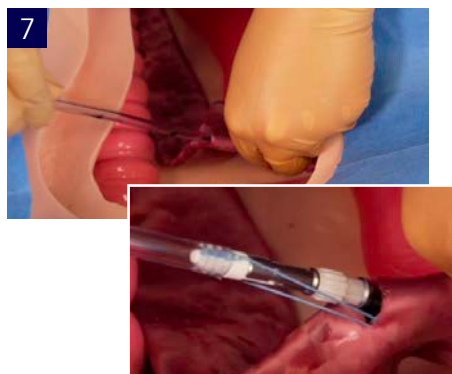
6
バルブチップ(又はホワイトフィッティングアクセサリ)が通るように、組織に切開口を形成します。



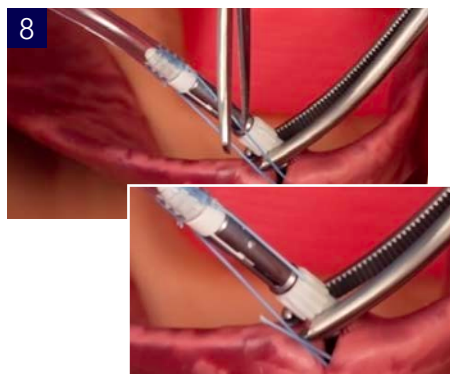
a
デリバリーチューブの長さを短くしたい場合は、チューブを適切な長さに切断することができます。
注意：短くしたチューブは経口使用には使用できません。



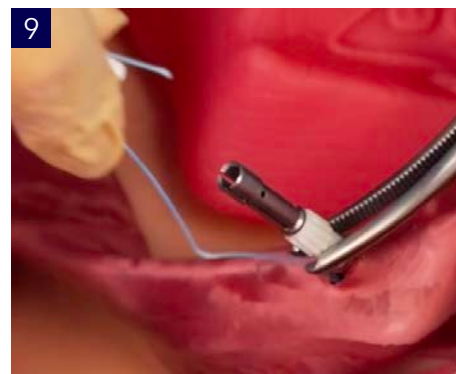
b
ホワイトフィッティングアクセサリをデリバリーチューブの切断端に取り付け、ホワイトフィッティングアクセサリのぎざぎざのある側を完全に収まるまでチューブに押し込みます。使用前に、ホワイトフィッティングアクセサリがチューブに完全にはまり、固定されていることを確認します。



アンビルセンターロッドのプラスチックカラー (C) が見え、切開点を通過するまで、デリバリーチューブを前進させるために牽引します。把持鉗子等でアンビルセンターロッド (B) を確実に保持します。
注意：組織の損傷又はアンビルからチューブが外れアンビルが組織内に取り残される可能性があるため、チューブの前進が妨げられる場合、チューブを強く引っ張らないこと。



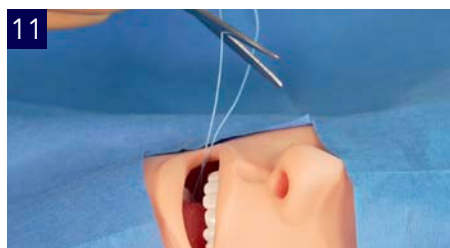
アンビル保持系の片一方のみを切断し、アンビルセンターロッドからデリバリーチューブを外します。
注意：アンビル保持系の不適切な方法での切断及び取外しによって糸が残り、吻合部で巻き込まれたまま打針されるおそれがあるので注意すること。



アンビル保持系を付けたままデリバリーチューブ (A) を抜去します。アンビル保持系の片一方のみが切断されている場合、デリバリーチューブを外すことでアンビル保持系がアンビルから引き抜かれます。**デリバリーチューブを外すと、アンビルヘッドが傾いた状態から立ち上がり平行閉鎖が可能になります。**



抜去後、すべてのアンビル保持系がチューブとともに取り出されたことを確認します。

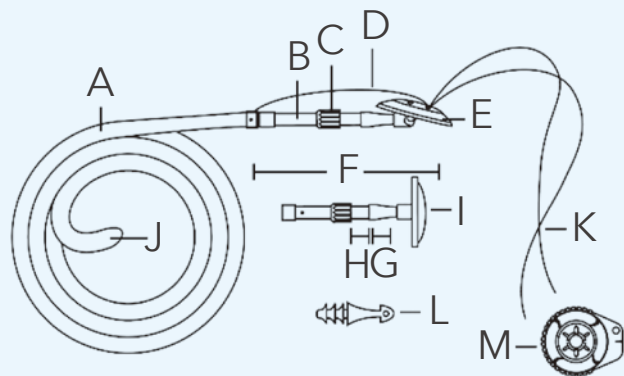


アンビルと本体との接続の前に、ガイドスーチャーの片一方を口腔外で切断します。
リール (M) を引いて、ガイドスーチャーを口腔内から外します。リールを引くと、ガイドスーチャーがアンビルから引き抜かれます。



抜去後はリールを注意深く確認し、ガイドスーチャーがリールとともに抜去されていることを確認します。

形状・構造



- A デリバリーチューブ
- B アンビルセンターロッド
- C プラスチックカラー
- D アンビル保持系 (非吸収性、ポリエステル製編み糸)
- E アンビルヘッド (ティルト)
- F ティルトトップアンビル
- G タバコノッチ
- H 把持ノッチ
- I アンビルヘッド (オープン)
- J バブルチップ
- K ガイドスーチャー (非吸収性、ポリエステル製編み糸)
- L ホワイトフィッティングアクセサリ
- M リール

Medtronic

コヴィディエンジャパン株式会社

Tel: 0120-998-971

medtronic.co.jp

販売名: トライステープル EEA サーキュラー
医療機器承認番号: 23100BZX00110000
クラス: III